

腹腔鏡下腹壁ヘルニア根治術に 必要な手技および解剖知識の習得

解剖実習セミナーを開催します。

参加希望者は下記申込先(メール)までご連絡ください。

日時 令和6年1月7日(日曜日) 9時～16時実習

場所 岡山大学鹿田キャンパス 解剖実習室

担当講師：井谷史嗣(広島市民病院 外科主任部長)

蛭川浩史(立川総合病院 消化器センター 外科主任医長)

対象：腹壁瘢痕ヘルニアの腹腔鏡手術に必要な解剖をマ
スターしたい若手外科医

参加費：5万円 募集人数：4～6名

見学：5千円(若干名)

実習内容

講義 9：00～10：00 ヘルニア修復の一般論・解剖

実習 10：00～12：00 eTEP TARのデモ+執刀

13：00～16：00 腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア手術の執刀

通常ホルマリン固定ではなく、シール(Thiel)法によって固定されたご献体での実習となります。シール法では、組織が柔らかく固定されているため、実際の手術とほとんど違和感のない感触で手術の執刀を実習することができます。

参加者には発熱などトリアージにかかる場合には参加できない可能性がありますのでご注意ください。

申込先

岡山大学病院消化器外科学 TEL：086-235-7257

mail：tarkun1@gmail.com (担当：近藤) 申込締切：令和5年12月30日(土)

協賛

特定非営利法人オアシス(OASISS:岡山大学関連外科研修情報支援機構)